
店舗照明等に用いられる高性能紫外光カットガラスを開発

日本電気硝子株式会社(本社:滋賀県大津市 社長:井筒雄三)は、服飾店舗用照明等での用途が期待される大判サイズの「高性能紫外光カットガラス」の開発に成功しました。紫外光カットガラスは板ガラスに特殊多層膜コーティングを施したもので、このガラスを光源の前面に設置することにより、光源から発せられる紫外光を効率的にカットすることができます。

当社は、2003年よりスパッタ法による特殊多層膜の開発、製造および販売を行っていますが、今般、当該技術を応用し、その特性を実現しました。多層膜の形成は、業界最大サイズ*の600×400mmまで対応可能です。

(*当社調べ)

<特長>

- **用途**

店舗照明等に用いられる高圧水銀灯などは可視光以外にも紫外光を多く発しており、服飾などが長時間、強く照らされると色落ち・ヤケが発生します。高性能紫外光カットガラスをこれらの光源の前面に設置することで、可視光の透過色が変わることなく紫外光を効率よくカットすることが可能です。

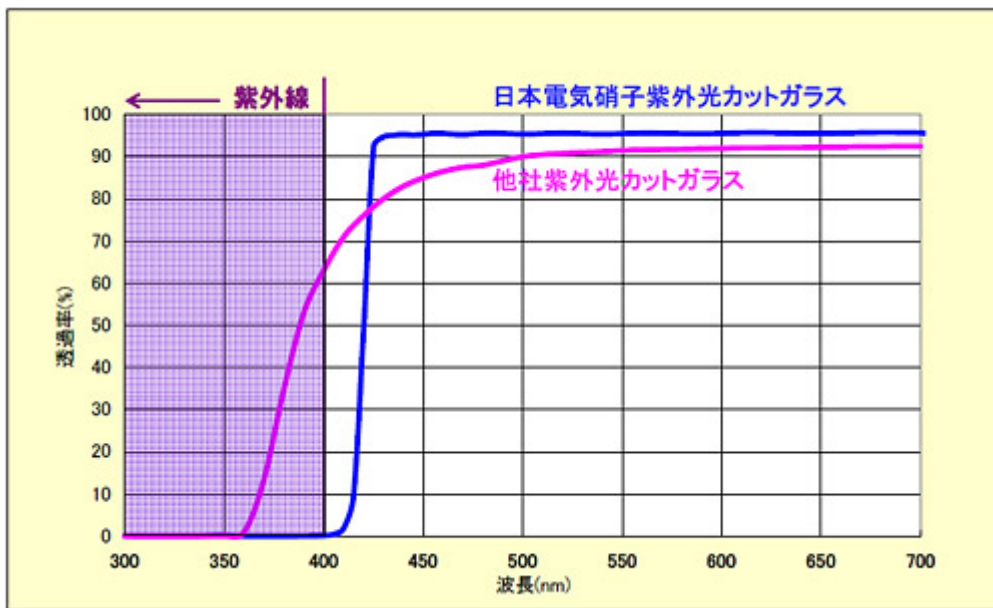
- **耐熱性**

大気中500℃の環境下でも、膜の劣化がなく、光学特性を維持します。

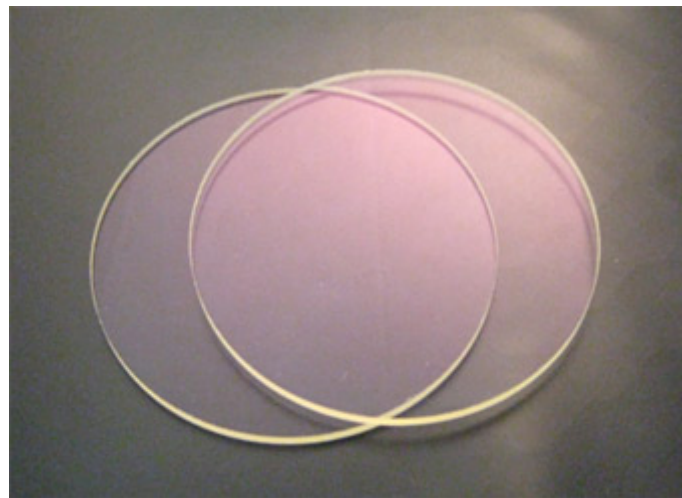
- **汎用性(用途や使用環境に応じたガラス材質への成膜)**

多層膜の成膜は、用途や使用環境・条件に応じて基板ガラスを自由に選択することが可能です。

【参考資料】



▲ 紫外光カットガラス 透過率曲線比較



▲ 紫外光カットガラス